

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期藤枝市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

静岡県藤枝市

3 地域再生計画の区域

静岡県藤枝市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、2015年の143,605人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2023年3月末に人口が14万人を割り込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2050年には総人口が112,629人となる見込みである。

年齢3区分の人口動態を見ると、年少人口（0～14歳）は、1990年の26,983人をピークに減少し、2020年には18,291人となる一方、老年人口（65歳以上）は、1990年の15,387人から2020年の42,898人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2000年の95,790人をピークに減少傾向にあり、2020年には80,153人となっている。

自然動態をみると、出生数は1980年の1,589人をピークに減少し、2022年には740人となっている。その一方で、死亡者数は2022年には1,722人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲982人（自然減）となっている。

社会動態をみると、2021年は新型コロナウイルス感染症流行の期間においてオンライン授業やリモートワークが行われたこと等により、転入者が転出者を上回る社会増（132人）であった。しかし、大学進学等の機会に首都圏を中心とした市外への転出者は増加し、若い世代にとって魅力的な産業が乏しいことから市内へのUターン者が少なく、2022年には▲362人の社会減となっている。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考

えられる。

今後人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、地方創生に資する事業の実施を通して目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 市民の命と安全・安心を守る藤枝づくり
- ・基本目標 2 市民の健康で豊かな暮らしを実現する藤枝づくり
- ・基本目標 3 こどもが健やかに学び、育つ藤枝づくり
- ・基本目標 4 力強い地域産業を育み、安心して働ける藤枝づくり
- ・基本目標 5 魅力と活力、持続力ある地域がつながる藤枝づくり
- ・基本目標 6 豊かな自然環境と資源を守り、次代につながる藤枝づくり
- ・基本目標 7 夢と希望にあふれ、未来につながる藤枝づくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	中心市街地区域内の居住人口	11,008人	11,117人	基本目標 1
イ	健康経営プロジェクト参加者数 【累計】	1,626人	3,000人	基本目標 2
ウ	放課後子ども教室参加児童数	4,200人	4,400人	基本目標 3
エ	企業立地件数【累計】	105件	135件	基本目標 4
オ	観光交流客数	2,036,874人	2,070,000人	基本目標 5
カ	1人1日当たりのごみ排出量	636.9g	594.0g	基本目標 6
キ	移住支援策を活用した市外から	2,872人	3,170人	基本目標 7

	の移住者数【累計】			
--	-----------	--	--	--

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期藤枝市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 市民の命と安全・安心を守る藤枝づくり事業
- イ 市民の健康で豊かな暮らしを実現する藤枝づくり事業
- ウ こどもが健やかに学び、育つ藤枝づくり事業
- エ 力強い地域産業を育み、安心して働ける藤枝づくり事業
- オ 魅力と活力、持続力ある地域がつながる藤枝づくり事業
- カ 豊かな自然環境と資源を守り、次代につながる藤枝づくり事業
- キ 夢と希望にあふれ、未来につながる藤枝づくり事業

② 事業の内容

ア 市民の命と安全・安心を守る藤枝づくり事業

市民が災害や疾病、交通事故、犯罪など様々なりスクから命と暮らしが守られ、安全で安心して快適に暮らせるまち・藤枝を創る事業

【具体的な事業】

- ・デジタルを活用した避難支援
- ・藤枝駅前地区市街地再開発の促進
- ・安全安心サポートネットワーク事業 等

イ 市民の健康で豊かな暮らしを実現する藤枝づくり事業

市民が住み慣れた地域で助け合い、生きがいを持って活動し、健康で元気に活躍できるまち・藤枝を創る事業

【具体的な事業】

- ・健康経営プロジェクトの推進
- ・デジタル・データを活用した健康づくりの推進
- ・アクティブシニアの生きがい創出 等

ウ こどもが健やかに学び、育つ藤枝づくり事業

市民が結婚や出産の希望を叶え、楽しく子育てができ、健やかで思いやりがあり、たくましく生き抜く力があるこどもを育むまち・藤枝を創る事業

【具体的な事業】

- ・情報教育の推進とICT人材の育成
- ・地域における子育て支援機能の充実
- ・ソーシャルビジネス創造拠点の整備促進 等

エ 力強い地域産業を育み、安心して働ける藤枝づくり

市民が様々なスタイルで安心して働くことができ、新しいビジネスや賑わいが湧き上がり、地域産業が持続し発展するまち・藤枝を創る事業

【具体的な事業】

- ・新産業・交流拠点等形成促進
- ・企業間連携ビジネス創出支援事業
- ・市内企業のDX化への伴走支援 等

オ 魅力と活力、持続力ある地域がつながる藤枝づくり

市民が本市ならではの文化に触れ、幅広い交流が生まれる舞台となる、固有の豊かさや価値が輝く地域がつながり、多彩な魅力あふれるまち・藤枝を創る事業

【具体的な事業】

- ・地域資源を活かした観光まちづくりの推進
- ・陶芸を活かしたまちづくりの推進
- ・旧市街地総合再生事業の推進 等

カ 豊かな自然環境と資源を守り、次代につながる藤枝づくり

市民が豊かな自然環境と共生し、限られた資源を大切にして地球環境を未来へつなげる持続可能な循環型のまち・藤枝を創る事業

【具体的な事業】

- ・ゼロカーボンシティの構築
- ・気象・ハザード予測の迅速な情報発信
- ・食品ロス対策の推進 等

キ 夢と希望にあふれ、未来につながる藤枝づくり

市民が質と価値の高いサービスを楽しみ、未来に期待を持てる、いつまでも住みたい場所として選ばれるまち・藤枝を創る事業

【具体的な事業】

- ・ふるさと納税の推進
- ・ふるさと住民登録制度の活用
- ・公共情報デジタルサービスの推進 等

※ なお、詳細は第6次藤枝市総合計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

1,000,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年4月頃に「藤枝市行政評価システム」による1次評価（内部評価）を行い、毎年7月頃に外部有識者で構成される「藤枝市行政サービス評価委員会」による2次評価（外部評価）を行い、翌年度以降の事業手法を改良する。内容については、検証後速やかに本市公式WEBサイトで公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで